
目次

.....

【1】 --- Koto Square オープンしました

.....

【2】 --- 情報検索室パソコンの利用方法が変わりました

.....

【3】 --- 熊谷誠慈先生講演会 参加者募集中
「こころテックと伝統知テックで生老病死の苦悩を超えられるか？」

.....

【4】 --- 貴重書全文アーカイブに『解体発蒙』『病理新説』追加

.....

【5】 --- 『博士論文の要約及び審査要旨』を橘井にアップしました

.....

【6】 --- 『今日の診療 Web』の4書籍改訂

.....

[Book Review]・・・編集後記にかえて

【1】 --- Koto Square オープンしました

.....

2025/4/8(火)にテープカットを行い、ラーニングコモンズ「Koto Square」がオープンしました。西脇知事から「図書館の枠を超えた学びを深める工夫があり、知を共有する場にしたい」と祝辞を賜りました。先生方、経理課さん、施設課さん、総務課さんを始め、ご協力いただいた学内外の皆様に御礼申し上げます。利用について詳しくは、[Koto Square](#)をご覧ください。色々な使い方ができますので、ぜひ一度訪れてみてください。

【京都府立医科大学附属図書館】

平日 9:00～21:00 土曜 10:00～18:00 (日曜、祝日休館)

※学内者のみ第3閲覧室を自習室として 23:00 まで延長開室。

【京都府立医科大学附属図書館下鴨館】

平日 9:00～19:00 土曜 9:00～17:00 (第2水曜、祝日休館)

◆図書館ホームページでは医学情報・文献データベースや電子ジャーナル・電子ブックを提供しています。

◆図書館所蔵資料を借りるには「[マイライブラリ](#)」のアカウントを登録した IC 職員証/IC 学生証が必要です。またマイライブラリに登録すると、来館せずに学外の文献複写の依頼、資料の予約、貸出期間の延長ができます。

※学生はすべてマイライブラリ登録済

※IC 職員証をお持ちでない学内者は、研修許可書等を持参の上、カウンターへご相談ください。

【2】 --- 情報検索室パソコンの利用方法が変わりました

.....

附属図書館 1 階の情報検索室に 5 台あるパソコン利用に、パスワードが必要となりました。利用は学内者限定です。ご利用の際、カウンターへお問い合わせください。その他にも、パスワードで認証を行うウェブサイトやデータベースは「[パスワード一覧](#)」に記載しています。パスワード一覧表を開くためのパスワードお問合せは、対面か、メール(libej@koto.~)、電話(内 9402)で承ります。学内者限定のため、必ず所属とお名前をお知らせの上、取り扱いにはご注意ください。

【3】 --- 熊谷誠慈先生講演会 参加者募集中

「こころテックと伝統知テックで生老病死の苦悩を超えられるか？」

.....

京都大学 人と社会の未来研究院教授、熊谷誠慈先生をお招きし、特別講演会を行います。疫病、戦争、物価高騰、この数年、ネガティブなニュースばかりを目にします。この生きづらさは何とかならないものなののでしょうか。仏教では、「一切皆苦」（全ての生き物は苦しみを抱える）と言われています。では、苦しくても仕方ないとあきらめるしかないのでしょうか。この点について、仏教では、心の苦しみは悪しき感情など（煩悩）から生じるものであり、心の正しい理解と煩悩を制御する方法・努力によって減少・解消できると説かれています。本講演では、このような仏教思想の観点から心の構造を概説したうえで、

内閣府ムーンショット（目標 9）で実施している心のテクノロジー開発、さらに、京都大学と株式会社テラバースが推進している伝統知テクノロジー（伝統知テック）の開発について紹介していただきます。

熊谷誠慈先生講演会「こころテックと伝統知テックで生老病死の苦悩を超えられるか？」

開催日時 2025/6/3(火)14:00

会場 京都府立医科大学 附属図書館

定員 先着 250 名（事前申込が必要です）

参加費 無料

申込方法 申込みフォーム <https://forms.gle/UrbDn2B4cFpkR8m16>

1 回のお申込みで 2 名まで受け付けます。

お申込みをいただいた方に、附属図書館から聴講券を返信いたします。

主催 京都府立医科大学附属図書館

熊谷誠慈／1980 年広島生まれ。京都大学大学院博士課程修了、博士（文学）。京都大学白眉センター助教、京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門特定准教授、同准教授、京都大学人と社会の未来研究院准教授を経て、2023 年より現職（2025 年 4 月より

同副研究院長）。2018 年 9 月よりウィーン大学ヌマタ教授を兼任（～同 12 月）。専門は仏教学（インド・チベット・ブータン）およびボン教（ヒマラヤの土着宗教）研究。

2021 年に、仏教最古の経典『スッタニパータ』を機械学習させた仏教対話 AI「ブッダボット」を開発。実業家の古屋俊和氏と株式会社テラバースを共同創業し、伝統知と AI 等を融合した「伝統知テック」の開発と社会実装を進めている。また、内閣府ムーンショット（目標 9）のプログラムディレクターとして、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現することを目指し、「こころテック」（こころの状態把握技術やこころの状態遷移技術）の研究開発を推進している。

【4】 --- 貴重書全文アーカイブに『解体発蒙』『病理新説』追加

デジタルアーカイブページ「貴重書全文アーカイブ」に、新たに 2 点(17 冊)追加しました。

【解体発蒙】 カイタイ ハツモウ 文化 10 年(1813)5 冊(4 巻、附録 1 巻)笹洲三谷樸公器著
中国医学の絶対性を信じ、西洋解剖学の内容はその中に含まれると考えた。掲載箇所で

は動脈を経脈、静脈を絡脈としている。また杉田玄白の影響も受け、三焦のうち上焦府をゲールパイプ（ゲール管）、中焦府を大キリイル（脾臓）、下焦府をゲールカキュウ（乳糜槽）にあてている。挿図は多色刷りで、京都で行なわれた解剖に参加した際の所見と、小石元俊が指導した『平治郎臓図』や『施薬院解男体臓図』（いずれも画は吉村蘭洲）などを参考にした。

【[病理新説](#)】ビョウリ シンセツ 明治 9(1876)刊。12 冊。虞里應(グリーン(英))原撰；桑田衡平譯述

『病理新説』の翻訳者である桑田衡平は天保 6 年（1836 年）に埼玉県日高市に生まれる。江戸で医学を学び開業、後に岐阜加納藩の藩医となる。しかし最新医学を学びたいとの思いにより、脱藩し再び江戸で学ぶ。明治時代に入ると米国医学書の翻訳に取り組み、明治 6 年（1873 年）には薬の解説や病気の治療や予防法を記した『内科摘要』を手掛けた。桑田衡平の手がけた翻訳書は、明治に教科書として用いられた。

【5】 --- 『博士論文の要約及び審査要旨』を橘井にアップしました

京都府立医科大学リポジトリ [橘井\(きっせい\)](#) に、

『博士論文の要約及び審査要旨』令和 5 年度
を公開しました。本学医学科大学院の研究成果です。是非ご活用ください。

【6】 --- 『今日の診療 Web』の 4 書籍改訂

医学書院発行のベストセラー書籍 16 冊を同時に検索できる「[今日の診療 Web](#)」2025/3/19 新版に更新されたものをお知らせします。

- ・今日の治療指針 2025 **更新！**
- ・今日の治療指針 2024
- ・今日の診断指針 第 9 版 **更新！**
- ・今日の整形外科治療指針 第 8 版
- ・今日の小児治療指針 第 17 版
- ・今日の救急治療指針 第 2 版

- ・臨床検査データブック 2025-2026 更新！
- ・治療薬マニュアル 2025 更新！
- ・今日の皮膚疾患治療指針 第5版
- ・今日の精神疾患治療指針 第2版
- ・新臨床内科学 第10版
- ・内科診断学 第4版
- ・急性中毒診療レジデントマニュアル 第2版
- ・ジェネラリストのための内科診断リファレンス 第2版
- ・医学書院医学大辞典 第2版
- ・標準的医療説明

同時アクセス5名まで。利用後はログアウトをお願いします。

[Book Review]

.....

くぼこまき著『クルーズはじめました! おトクに楽しむ豪華客船の旅』
(JTBパブリッシング 2014年)

初めてクルーズ船に乗った時のドタバタ体験を描いたコミックエッセイです。WEBで公開しているエッセイを見て面白かったこと、図書の紹介もあったので借りて読んだものです。一度は乗ってみたいと思う豪華客船ですが、ちょっと敷居高いよね…と思う人が多いかもしれませんが、この本を読むと「意外と乗れる?楽しそう!」と思えます。

ブログの方は既にいろいろなクルーズに乗った経験談が多いですが、この本では、著者が初めてクルーズ船に乗った体験話、失敗話、例えばビュッフェで食べ過ぎてしまったり(分かるわかる)、寄港地で迷子になったりいろいろ笑えるエピソードがたっぷりと書かれています。飛鳥IIやスーパースター・ヴァーゴなど、様々な豪華クルーズ船の体験記が非常に参考になり、未来でもしかしたら行くかも知れない時に分かりやすいガイドブックになっています。船内での過ごし方や服装等クルーズ初心者でも楽しめる情報が満載で、読んだ後にはクルーズ旅行に行きたくなること間違いなし。というか行きたいです! 時間と金があれば、即乗っています…。いつか行けたらいいな…(M.H)
(京都市醍醐図書館所蔵「[K-Libnet](https://klibnet.jp/)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ：<https://booklog.jp/item/1/4533097014>

.....

図書館メール News541 号 2025.4.17 発行（隔週木曜日発行）

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

（図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓）

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>